エコアクション21

環境活動レポート

対象期間:2015年4月～2016年3月

日本包装システム株式会社

発行日　2016年 5月 27日
作成者　飯塚 宣人

目次

表紙	P1
目次	P2
Ⅰ．会社概要・事業内容	P3
Ⅱ．環境方針	P4
Ⅲ．環境活動実施体制	P5
Ⅳ．環境目標	P6
Ⅴ．実績	P7
Ⅵ．次年度の活動計画	P12
Ⅶ．環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P14
Ⅶ．代表者による全体評価と見直しの結果	P15

Ⅰ．会社概要・事業内容

（1）事業者名及び代表者名

日本包装システム 株式会社

代表取締役社長　池畠 正英

（2）所在地

本社工場　〒379－2153　群馬県 前橋市 上大島町 １８２

共同工場　〒379－2154　群馬県 前橋市 天川大島 １３１０－４

（3）環境管理責任者及び事務局

EA-21責任者 ： 管理部　飯塚 宣人

EA-21事務局 ： 管理部　小宮 由香利

連絡先　TEL ： ０２７－２６１－４４５５

FAX ： ０２７－２６１－４４５６

E - mail ： n.iiduka@nhs-1972.co.jp

（4）事業活動の内容

紙製容器・包装資材の開発、製造および販売

（5）事業規模（2015年度）

主要製品の生産量	：	７９５ｔ
売上高	：	６４４百万円
資本金	：	6,０００万円
従業員数	：	５０人
延べ床面積	：	3,７１５.０３㎡

（6）対象範囲（認証・登録範囲）

上記（2）に該当する所在地（共同工場は除く）と（4）に該当する活動内容

※次回更新審査時に共同工場も認証範囲に拡大予定

Ⅱ．環境方針

環境方針

日本包装システム株式会社は、地球環境保全のため、
循環型社会の実現と環境負荷の低減を推進します。

1．当社は事業活動を通じて、環境マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め全員参加で継続的な改善に努めます。

2．環境関連の法令、規制を遵守するとともに、行政・団体・地域との協力体制を確立します。

3．当社は全ての活動に於いて環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取組みます。
　① エネルギー使用量・水資源使用量の削減
　② 廃棄物の削減とリサイクルを目的とした分別回収
　③ グリーン調達の推進

4．当社は文化的生活の向上と環境負荷低減の両立を目指し、安全で効率のよい生産活動を追求します。

5．社会の一員として環境保全に関する啓蒙・啓発に努めます。

この環境方針は当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

２００９年４月１日
改定日　２０１６年４月１日

日本包装システム株式会社
代表取締役社長
池畠正英

Ⅲ．環境活動実施体制

代表者(社長)	1. 環境方針の策定 2. 経営資源の準備 3. 代表者による全体の評価と見直し 4. 環境活動レポートの承認 5. 環境目標及び環境活動計画の承認
池畠 正英	

EA-21責任者	1. EA-21システムの確立、実施推進、維持管理 2. 環境への負荷及び取組への自己チェックの実施 3. 環境目標及び環境活動計画の策定 4. 環境活動レポートの作成 5. EA-21に関する実績把握と報告 6. EA-21環境経営マニュアルの作成
飯塚 宣人	

	人員
顧問	2 名
一般	36 名
パート	12 名
合計	50 名

2016年4月現在

対象範囲

本社工場	相川 利明	1.環境活動計画の策定と実施 2.問題点の是正処置
第一営業部	小貫 敦	1.環境活動計画の策定と実施 2.問題点の是正処置
管理部	森 克美	1.環境活動計画の策定と実施 2.問題点の是正処置
総務部	高橋 正利	1.環境活動計画の策定と実施 2.問題点の是正処置

共同工場	田島 和憲	1.環境活動計画の策定と実施 2.問題点の是正処置

※次回更新審査時に共同工場も認証範囲に拡大予定です。
※但し、エコアクション21の活動は既に取り組んでいます。

EA-21委員会	1. 環境目標及び環境活動の結果確認 2. EA-21に関する審議
委員長：池畠 正英 飯塚 宣人・小宮 由香利・高橋 正利 森 克美・松本 宏志・田島 和憲・中田 純也	

EA-21事務局	1. EA-21責任者の補佐業務 2. 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況確認 3. 教育、訓練計画の策定・実施（緊急時対応訓練 等） 4. 環境文書及び記録の作成、管理 5. その他ＥＡ－２１に関する業務
小宮 由香利	

Ⅳ．環境目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。
尚、目標設定の基準は当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。尚、目標設定の基準は2014年度のデータを使用しております。

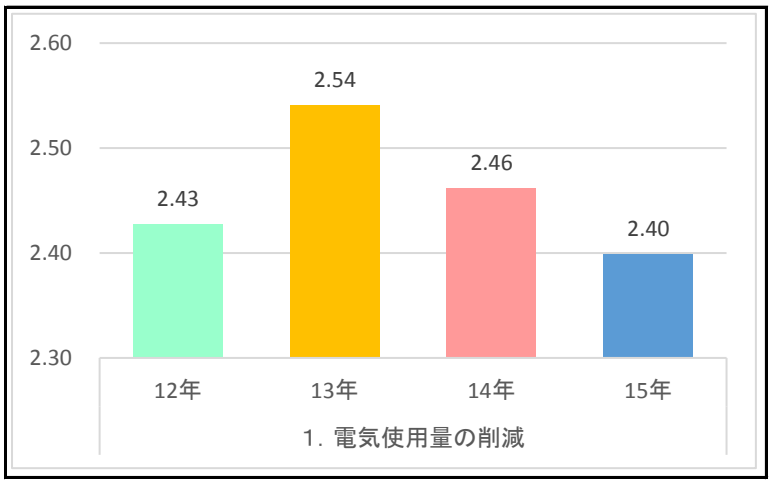
取組項目	2014年度実績 (基準値)	中期目標 (2015年度)
電気使用量の削減	CO_2換算　2.46kg/万円	1%削減
燃料使用量の削減	営業車使用燃料(ガソリン・軽油) CO_2換算　0.005kg/万円	1%削減
廃棄物の削減	①廃棄物(古紙回収)の削減 3.51kg/万円	0.5%削減
	②廃棄物(廃プラ)の削減 0.035kg/万円	0.3%削減
	③廃棄物量(鉄・ガラス・その他) 0.02kg/万円	0.3%削減
水資源使用量の削減	0.012㎥/万円	0.1%削減
グリーン購入の促進	16品目	2品目増
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境目標	――――	――――
化学物質使用量の削減	――――	――――

Ⅴ．実績

環境目標に対する達成状況は以下の通りです。
※1．実績値は、2015年度運用期間(4月～3月)の1年間と、基準年度2014年度の同月の値と比較する。
※2．総量は4月から3月の1年間の合計とする。
※3．単位は、売上金額1万円当たりの使用量とする。
※4．購入電力(東京電力)の二酸化炭素排出係数は0.378。
※5．ガソリンの二酸化炭素排出係数は0.0671。
※6．軽油の二酸化炭素排出係数は0.0687。

電気使用量の削減

目標数値	1%削減
2014年度 基準値	CO_2換算 2.46kg/万円
2015年度 (4月～3月)	CO_2換算 2.40kg/万円
達成率	102.57%
結果	○

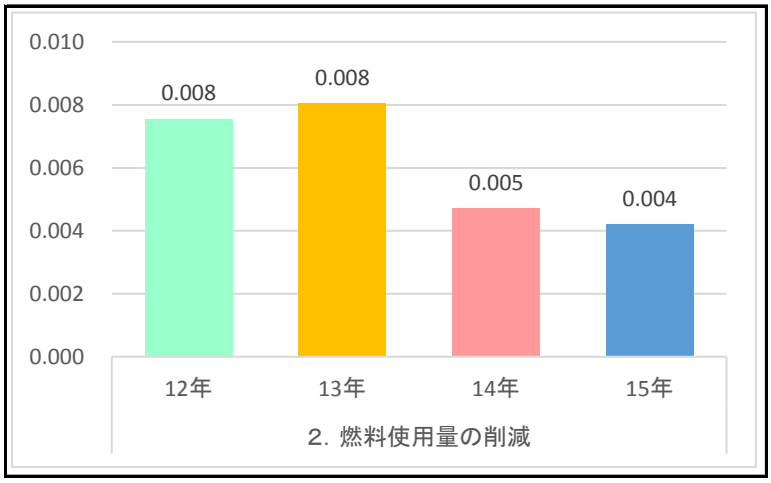


計画　① 未使用の電気、パソコンモニタの電源OFF
② エアコン温度の設定
③ トイレ便座の温度設定(夏季：OFF、冬季：ON)
④ エアータオル就業時間外の電源OFF
⑤ 空調フィルターの定期清掃
⑥ デマンド監視装置活用によるピークカット
(電気管理業者のサポートによる使用電力削減)

評価：目標値を達成
弊社工場で一番電力を使用する、熱板を使用したプレス機(成型部門)の生産量は増加して電気使用量も増加しましたが、成型部門の他にも他部門の売上が好調であった為に目標値を達成しました。
計画にあるエアコン温度の設定に関しては、夏場のデマンド監視装置を活用しての運用を考えていましたが、工場内の室温上昇による社員の健康状態の悪化を防ぐ為に計画は事務所のみとしました。
その他の計画については概ね実行が出来ました。しかし、デマンド監視装置ついては、まだまだ活用が出来る余地ありと考えられるので、運用方法や活用の方法も含めて情報種集を行い次年度への課題にしたいと考えます。

営業車燃料の削減

目標数値	1%削減
2014年度 基準値	CO_2換算 0.005kg/万円
2015年度 (4月～3月)	CO_2換算 0.004kg/万円
達成率	111.07%
結果	◎

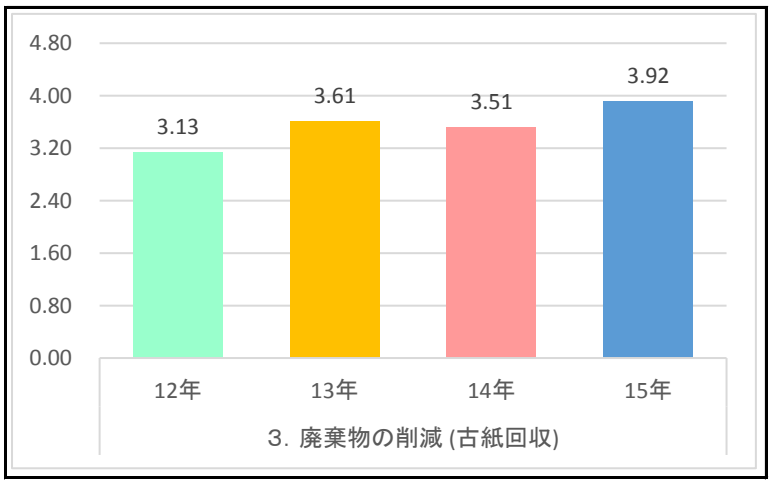


計画　① 燃料使用量・走行距離チェック(3カ月毎)
② 低燃費、Co2低排出車の情報収集・導入検討
③ エコドライブ10のすすめの再掲示
④ エコドライバープロジェクトの掲示
⑤ エコドライブ講習会への参加
⑥ 安全運転講習の発表

評価：目標値を達成
2014年度と比べて、実績使用量で45ℓのマイナスを達成。
要因としては、安全運転及びエコドライブの実践の浸透が大きいと考えます。
日々運転の中でのエコドライブ運転を実践していく事で、長期的に燃費及び使用量を見ていく必要があり、一概に達成率それのみだけでの評価だけではなく、年間を通した取り組みによる成果に期待したいです。

廃棄物(古紙回収)の削減

目標数値	0.5%削減
2014年度 基準値	CO_2換算 3.51kg/万円
2015年度 (4月～3月)	CO_2換算 3.92kg/万円
達成率	88.50%
結果	×

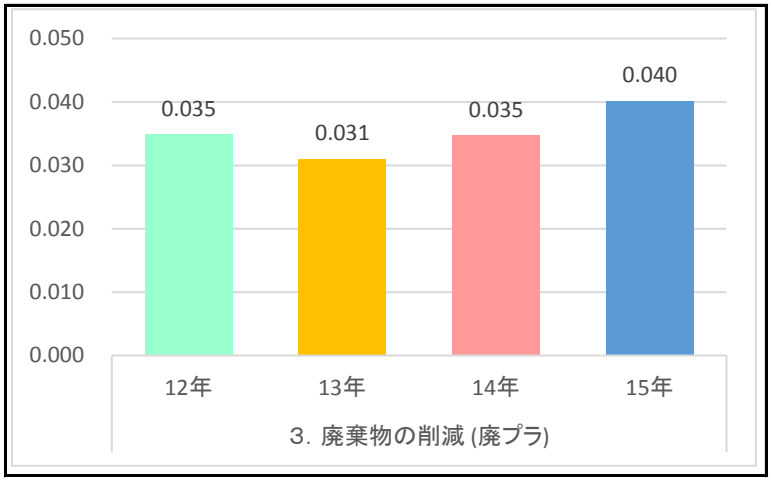


計画　① 分別廃棄の継続(本社工場・共同工場)
② 私物ゴミ持ち帰りの徹底(共同工場)
③ 不良率の削減
調整時ロスの削減・ロスの早期発見と対応
④ 機密文書の廃棄(8月)
⑤ 不良率の削減の取り組みを発表(8月)

評価：目標値には届かず
2015年度の生産量は前年度よりも増加。それに伴い廃棄量も増加しています。しかし、売上金額も増加はしていますが増加の比率が同等ではなく、廃棄量の数値の方が悪化しています。これは近年の顧客要望である品質レベル向上に伴い検品基準の引き上げが必要となり、エラー品の廃棄量が増加している事が原因の一つとして考えられます。
また、不要ブランクや不良在庫となった製品の廃棄なども増加の一因となっています。
前年度に改善の余地ありとした不良率削減による廃棄量削減の取り組みは上記の件もあり、継続した課題と捉えて取り組んでいきます。
施策に挙げた生産開始前の調整時ロスの削減ついては、注意事項伝達メモの活用により少しずつ効果が表れてきています。

廃棄物(廃プラ)の削減

目標数値	0.3%削減
2014年度 基準値	CO_2換算 0.034kg/万円
2015年度 (4月～3月)	CO_2換算 0.040kg/万円
達成率	84.31%
結果	×

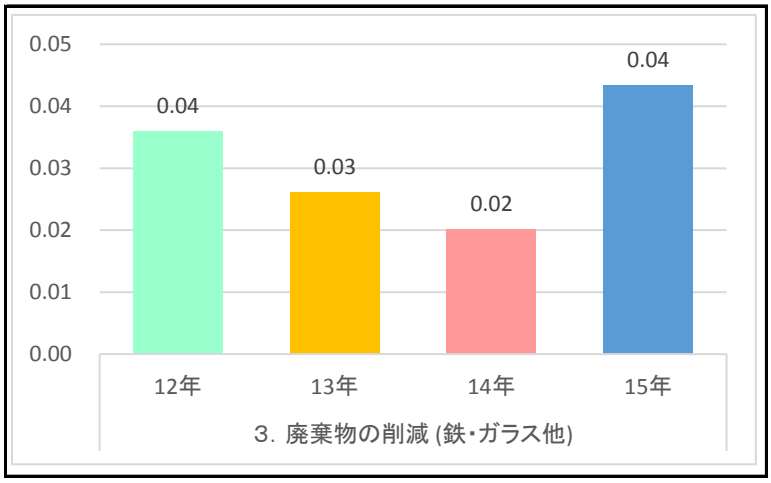


計画　① 資源ゴミと一般ゴミの分別の徹底
(一般ゴミ内の資源ゴミ混入防止の徹底)
② 本社工場と共同工場の分別方法の統一
(掲示板に分別内容などを掲示)
③ 廃棄物の削減②③の取り組みの発表（10月)
④ 蛍光灯LED化の検討

評価：目標値には届かず
廃棄内容の大きな部分をストレッチフィルムが占めていますが、これは近年より増加の傾向にあります。顧客からの製品の品質向上要求に対応する為に、様々な箇所にてストレッチフィルムの使用が増加しています。弊社もこれに対応する為に、来年度の施策内容に、ストレッチフィルムの使用量減少の対策に取り組んでいきます。
(フィルムの厚さや巻き方・回数などのテストも行っていく必要があります。)

廃棄物(鉄・ガラス等)の削減

目標数値	0.3%削減
2014年度 基準値	CO_2換算 0.02kg/万円
2015年度 (4月～3月)	CO_2換算 0.04kg/万円
達成率	-15.59%
結果	×

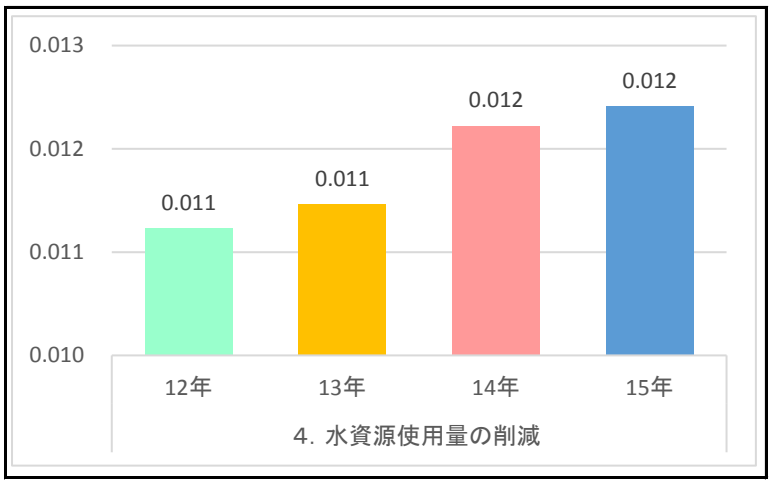


計画　本社・共同工場 共通事項
① 資源ゴミと一般ゴミの分別の徹底（一般ゴミ内の資源ゴミ混入防止の徹底）
② 本社工場と共同工場の分別方法の統一（掲示板に分別内容などを掲示）
③ 廃棄物の削減②③の取り組みの発表（8月）
④ 蛍光灯LED化の検討

評価：目標値には届かず
2014年度から比べて大きく増加してしまいました。要因としてはイレギュラーな廃棄物(冷蔵庫や給茶機、金属ボードやパネル)があった事と、毎年問題に挙がるステンレス面板の廃棄量の増加などが考えられます。
前年比で売上金額が増加していますが、その比率以上に廃棄が増加してまった事はきちんと反省をして、次年度への対策を検討していきます。
また、不定期で出る面板や抜き型の定期化のルールづくりにも取り組みます。

水資源使用量の削減

目標数値	0.1%削減
2014年度 基準値	CO_2換算 0.012kg/万円
2015年度 (4月～3月)	CO_2換算 0.012kg/万円
達成率	98.45%
結果	△



計画　本社工場　① 節水継続意識向上の継続
（手洗い・糊つぼ洗い時に水を止める）
② トレー工場の水道をレバータイプへ変更検討
共同工場　① 各水道付近に「節水ステッカー」を貼り、注意喚起を促す。
② 節水継続意識向上の啓蒙啓発

評価：目標値には届かず
水使用量の数値増減の大きな要因は、トレー部門の生産量が関係してきます。
2015年度に関してはトレーの生産量が増加した為に、水使用量も増加となっています。例年、この部門は数値が良好であった為、活動内容が不十分で終わってしまった可能性も考えられます。今回の数値の悪化をきちんと反省をして、もう一度社員全員で節水の意識を持って活動をしていく必要があります。

グリーン購入の推進

取組項目	2014年度（基準値）	2015年度	結果
グリーン購入の促進	16品目増	目標2品目増に対して 結果4品目	◎

環境保全取組実施率の向上

① 管理者・従業員の教育
9月1日に共同工場の社員と合同で消火訓練の取り組みを行いました。

② その他、入口に「アイドリングストップ」の表示をして、当社出入りの業者さんに対して環境保全活動の協力依頼をしています。

化学物質使用量の削減

定期的(7月・11月・3月)に保管場所と管理方法の確認を行いました。

Ⅴ．次年度の活動計画

当社は、環境への負荷を低減するために、以下の活動を実施していきます。

(1) 電気使用量の削減

- 未使用の電気、パソコンモニタの電源OFF
- エアコン温度の設定
- トイレ便座の温度設定(夏季：OFF、冬：ON)
- エアータオル就業時間外の電源OFF
- 空調フィルターの定期清掃
- デマンド監視装置活用によるピークカット
  (季節ごとに1時間毎に数値を測定)
- 電気管理業者のサポートによる使用電力削減

デマンド監視装置

(2) 燃料使用量の削減

- 燃料使用量・走行距離チェック(3カ月毎)
- エコドライブ支援装置の営業車取付
- エコドライブ講習会への参加
- 安全運転講習の発表

(3) 廃棄物の削減 (古紙回収)

- 新基準指標の検討(歩留り率使用の検討)
- 分別廃棄の継続(本社工場・共同工場)
- 私物ゴミ持ち帰りの徹底
- 不良率の削減
  調整時ロスの削減
  ロスの早期発見と対応
- 不良率の削減の取り組みを発表(8月)

事務所内の分別廃棄表示

(4) 廃棄物の削減(廃プラ・鉄・ガラス他)

◎廃プラ／鉄／ガラス他 共通事項

- 資源ゴミと一般ゴミの分別の徹底
  (一般ゴミ内の資源ゴミ混入防止の徹底)
- 工場内ゴミ箱の表示見直し
- ブランク納品時のプラパレ化の納入依頼を交渉
- 廃棄物の削減の取り組みの発表(10月)

◎鉄／ガラス他

- 打ち抜きの抜型・面板廃棄の定期化の検討

(5) 水資源使用量の削減

- 水資源使用量の削減の取り組みの発表(11月)

◎本社工場

- 節水継続意識向上の継続
  (手洗い・糊つぼ洗い時に水を止める)
- 成型工場の蛇口レバーを長い形状のものへ変更検討

◎共同工場

- 節水継続意識向上の啓蒙啓発

(6) グリーン購入の促進

- グリーン購入法に対応した品物の購入の継続

⑺　環境保全取組実施率の向上

・毎月1日に全体ミーティングにてEA21の取り組みや環境教育等を実施
・アース環境サービス社様による「防虫・衛生・品質関連」の講習を予定（7月）
・避難訓練「地震による避難訓練」（9月）
・駐車場周辺の清掃(草むしり)（10月）
・施策の成果と成果と反省（3月）

全体ミーティングの一例

⑻ 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境目標

・新製品の設計を行う際に効率的で無駄の少ない割り付けを心掛け、原紙のロスを軽減します。
・新製品を生産する際に、環境に配慮した材質、リサイクルが可能な材質の使用を心掛けます。
・上記施策「廃棄物の削減(古紙回収)」でも挙げた、不良率の削減を社員全員で取り組みます。

⑼ 化学物質使用量の削減

・保管と管理の確認を定期的に行います。

Ⅵ. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関連する主な法規制は下表の通りです。
また、関連法規制の遵守状況確認を毎年１回実施しており、違反はありませんでした。
地域住民からのクレームもありませんでした。
同様に関係当局よりの違反等の指摘は過去３年間ありませんでした。

主な適用法規	当社の対応	遵守状況
廃棄物処理法 循環型社会形成推進基本法 群馬県環境基本条例 群馬県の生活環境を保全する条例 前橋環境基本条例	廃棄物の削減 廃棄物の適正処置の確保 産業廃棄物保管基準遵守 廃棄物の飛散・流出・地下浸水の防止 産業廃棄物処理委託基準の遵守 産業廃棄物の委託契約書の記載事項の遵守 産業廃棄物管理票の管理義務	遵守確認済
エネルギーの使用の合理化に関する法律 (省エネ法)	エネルギー使用量の合理化義務	遵守確認済
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	廃棄時の引き取り業者への 引渡し料金の支払い	本年度廃棄無し
フロン回収・破壊法	廃棄時の回収業者への引渡し	本年度廃棄無し
消防法(危険物関連) 前橋市火災予防条例	少量危険物貯蔵所設置の届出 基準在庫管理	基準在庫以下確認 廃止届け提出
大気汚染防止法 ダイオキシン類対策特別措置法 群馬県生活環境の保全等に関する条例	規制基準の遵守義務	規制基準以下の為、適応外
容器包装リサイクル法	毎年度、その生産量に応じて 再商品化義務量の再商品化	遵守確認済
下水道法	排水基準の厳守	排水基準量以下確認
CSR(社会的責任)調達 (トッパングループ)	エコアクション21に適応	遵守確認済
産業廃棄物管理表(マニフェスト)に 関する報告義務化	産業廃棄物管理表交付等状況報告書の記入 産業廃棄物管理表交付等状況報告書の提出	6月提出済み
騒音規制法	特定施設設置届出書の提出	遵守確認済
振動規制法	特定施設設置届出書の提出	遵守確認済
フロン排出抑制法	該当設備を管理者により定期点検	実施済

Ⅶ. 代表者による全体評価と見直しの結果

組織は合併後二年が経過致しました。全事業所での認証取得を目指し実績数字の把握や教育が進められて結果が出てきております。特に管理業務におけるムダなどが減り、全体の活動に安定感がみられるようになりました。

また今年度は工場通路の改修工事を行った結果、人・物の流れを改善することが出来、同時に照明のLED化やコンプレッサーの設定変更等も進められました。しかし、当社の場合、どうしても安全・品質を優先するため、ストレッチフィルムやステンレス面板などの廃棄物が増加傾向にあります。色々な角度から改善検討を行い、生産体制のレベルを上げていく必要があると思います。そして老巧化した設備などのリスクも適正に判断していくことが重要と考えております。

代表取締役社長
池畠 正英